

東濃社会教育だより

—CS—



岐阜県恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当: 牧野賢一
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 210

「6年生の皆さんの存在自体が根本の未来です」

学校運営協議会委員の方々が企画・運営した6年生と語る会

令和8年2月25日(水)に多治見市立根本小学校にて行われた地域の方々との授業を参観させていただきました。地域の方々の根本に対する思いの詰まった授業を参観しました。

◆6年生と語る会ができるまで

学校運営協議会(年間5回実施)で準備を行いました。

第1回 熟議「どんな根本小の子どもたちを育てるか」を話し合う

第2~4回 「どのような子どもを育てたいか」をもとに今年度の活動を具体化。今年度は、語る会の企画・準備を含む

第5回 「根本の昔・今・これから」の講話、6年生と語る会の運営、今年度の振り返り

◆当日2月25日の様子(体育館、6年生対象)

3時間目 「根本の昔・今・これから」の講話

70年前、40年前、20年前、これからについて学校運営協議会会長をはじめ、各委員の方々、地域の方々が分担して過去の写真を映し出して、様子を示しながら講話をされました。会長さんは、数年前に作成した根本の歴史をまとめた地域史の編纂にかかわってみえ、古い貴重な資料を提供していただきました。講話では、「昔は、周りは山が多く、川で泳いで遊んでいたよ」「夜、外を歩くとキツネやタヌキが迎えに来てくれたよ」「まちづくり協議会の方々が子どもたちのために座禅会やどんど焼き、しめ縄づくりなどの地域行事をたくさんやってくださっているね」など当時の様子を語ってくださいました。

多治見市立根本小学校の紹介

多治見市北西部に位置する、全校児童416名。卒業生は、3中学校(小泉中、北陵中、南姫中)に分かれて進学します。進学しても「根本」を大切に思ってくれる子になってほしいという願いで地域の方々が活動くださっています。



地域の方々の講話

4時間目 6年生と語る会 ~23名の地域の方々が参加~

児童3~5人に対し、地域の方1~2人のグループで交流。交流は、地域の方がリードしてくださいました。

<グループ交流の内容・話題>

- ・自己紹介(住んでいるところ、好きなこと、今頑張っていること)
- ・小学校残り1か月で頑張りたいこと ・中学校で頑張りたいこと
- ・根本のいいところは?(根本について知っていること)
- ・こんな根本になったらいいな。 ・根本に生きるみんなに、何ができるか。



小グループでの交流

交流後、各小グループで話し合った内容について6年生が発表しました。

全体交流の内容(一部抜粋)

- これからも自然を大切に、ごみのポイ捨てをしない。
- ボランティアでごみ拾いをしたい。ポスターを作って呼び掛けたい。
- 進んで地域の方々に挨拶をしたい。
- 地域の方々との関わりを大切にしたい。今日のような機会を増やしたい。
- これからも地域の行事に参加し、地域の方々とのふれあいを続けたい。



6年生の皆さんの発表から今回の授業において、地域の方々の根本に対する熱い思いが6年生の皆さんにしっかりと伝わり、6年生の皆さんが根本のよさや地域の方々の思いを再認識できたのではないのでしょうか。

◆ 根本小学校の学校運営協議会の実践から学びたいこと3点

- ① 年度初めに「熟議」を行い、学校課題、地域課題を踏まえて「どのような子どもを育てたいか」を話し合い、学校、地域ともに活動の方向を共有している点
- ② 授業当日(25日)には、23名もの地域の方々が来校して下さることからも、地域の方々が根本小学校の子どもたちを大切にされている熱量がよく分かります。根本愛溢れる様々な立場の方々が活動に賛同し、活動にかかわって下さっている点。
- ③ 学校運営協議会での熟議を受けて、会長さんが地域の方々に働きかけ、様々な方々をまき込み活動をコーディネートされています。また、校長先生が強力にバックアップし、学校側の願いを共有され、組織的、持続可能性のある活動へとなっている点。

◆ その他の活動

- 「熟議」において次のことが確認されました。人を大切にする児童を育てるためには、「ありがとう」だけでなく「ごめんなさい」と言える子にしたいという願いが共有され、学校経営構想を見直すきっかけとなりました。
- 上と関連して、「熟議」において学校課題も議論されているため、毎日の登下校の見守りを教員で手分けして行っていたものを地域の方々が分担して引き受けて下さるなど先生方の働き方改革にもつながっているとのこと。
- 「語る会」以外にも、年間を通して地域の方々と協働して防災教育、交通安全教室、戦争の歴史を学ぶ(6年生)、ガサガサ体験(4年生)、根本を学ぶ(3年生)、昔遊び、町探検ボランティア、野菜作り、花苗づくり、地域ふれあいクラブ、みんなの勉強部屋(根本なかよし食堂)などの活動を行っています。
- 「中学校では、少数派になってしまうかもしれないけど、困ったときにはいつでも地域の人たちに頼ってね」という思いで地域の方々が子どもたちに接して下さっている点。

◆ 子どもたち、地域の方々の声

- ・いつも見ている地域のおじさんたちが、根本のことをこんなにも考えて動いて下さっていることに驚いた。自分も根本のことを語る大人になりたい。
- ・地域の方と根本について語り合うことは今までになかった。これからも交流していきたい。
- ・子どもたちと語り合うことは、とってもよかった。これからも続けてほしい。語ることで、子どもたちのことを知ることができた。
- ・語る会があることや子どもたちと語るができることを地域も知る必要がある。
- ・地域と子どもが結びついた。これからは親も巻き込みたい。

語る会後の学校運営協議会においては、「来年度実施のために、何を語るか、何のために語るかを明確にして、学校運営協議会で計画したい。」という反省も出るなど、地域の方々の熱い思いが伝わってきます。